

# 平成28年度 第3回 学校運営協議会 会議録

日 時 平成29年1月18日（水）

13時30分～15時30分

場 所 千葉県立京葉高等学校大会議室

## 1 開会の言葉（教頭）

## 2 県教育委員会あいさつ

（千葉県教育庁教育振興部生涯学習課学校・家庭・地域連携室 副主幹）

## 3 校長あいさつ

## 4 協議

### （1）部会（各部会に分かれての協議）

平成28年度の取り組みのまとめ及び今後の取り組みや課題について、各分科会で協議を行った。

### （2）全体会

各部会からの報告及び協議を行った。

### 【地域連携部会】

#### ○校内コミュニティ・スクール委員（生徒）の役割について説明

- ・今年度は主に周知・連絡係としての役割が多かった。
- ・来年度はさまざまな活動の企画立案等も視野に入れながら、更に機能的・組織的に動けるよう教員と生徒で連携していきたい。

#### ○ボランティア等への参加について

- ・今年度のべ240名の生徒が参加しているが、なんらかのかたちで全ての生徒に参加して欲しい。
- ・部活動単位での参加であったり、参加した記録をポイント制にして生徒の意欲を向上させたりしてはどうか。

#### ○卒業生等の活用

- ・コミュニティ・スクールの活動について、卒業生等から生徒に話してもらったりすることで、生徒はより身近に感じられると思う。

#### ○「ボランティア」という言葉について

- ・ボランティアというと生徒は無償の奉仕というイメージがあり参加しないのではないか。
- ・参加の趣旨やメリット等について十分説明して、参加者を募ることが大事である。

- コミュニティ・スクール活動の生徒への理解について
  - ・コミュニティ・スクールの認識等を生徒により深めさせることが、今後活動していく上で必要ではないか。

#### 【キャリア教育推進部会】

- 職場体験について
  - ・事前指導，事後指導をしっかりとやることが大事である。
  - ・生徒の振り返りをしっかり行うことで，図書室や進路室を利用する生徒が増えるのではないか。
  - ・参加した生徒の感想をもとに来年度以降の改善に取り組みたい。
- 職業観育成について
  - ・資格試験等の実施について現在検討中である。
- 臨海部企業の連携について
  - ・今年度，臨海部企業と高校職員との意見交換会を行った。
  - ・来年度以降，高校生のインターンシップや保護者対象の説明会等実施できればと，考えているところである。

#### 【小・中・高・大連携部会】

- 他校種との連携について
  - ・近隣の小中学校との連携をもっと広げて欲しい。
  - ・出前授業について小中学校への PR をもっとしたらどうか。例えば地区の校長会等で宣伝をしたりしてはどうか。
  - ・出前授業の内容について体験的な活動は小中学校ともに人気がある。出前授業の内容についてより具体的に示すと，小中学校でも授業のイメージができ依頼しやすい。小中学校の授業等を参観するといろいろ参考になるのでは。
  - ・部活動でも今後とも更なる連携を図る。

(補足)

校長 平成28年度の課題及び平成29年度に向けての方向性について説明

(意見)

委員 「ボランティア」という言葉について，生徒達には地域密着型社会貢献活動として取り組んで欲しい。また，ボランティア活動として自分が提供した時間は自分の身になり，自分への投資だと思って活動する。ボランティア活動を行い自分に返ってくるものがある。それは相手の反応である。

(3) 学校評価《外部評価》について

教頭から今年後の学校評価等の結果及びその考察について説明した。

5 閉会の言葉（教頭）